



ヨーロッパ最大規模の スパ・サウナ関連産業展示会



『interbad2008』最新レポート

スパ&フィットネスジャーナリスト 渡辺 真衣

～ヨーロッパのスパマーケットから 見える日本のビジネスチャンス～



 2008年10月15日から18日、フランクフルトから1時間半ほど離れた stuttgart (シュトゥットガルト)にて、お風呂エリアをテーマとし、プール、サウナ、スパ、ジャグジーの4分野を主としたヨーロッパ最大の国際展示会が開催された。非常に盛況でレベルの高い出展内容を肌身に感じながら、①ヨーロッパのウェルネス産業の現状、②今後の日本において参考になること、そして③日本が持つ日本独自のスパ産業の可能性、の3つの視点でレポートしたいと思います。





今年の interbad の傾向 〜ヨーロッパのウェルネス産業の現状〜

数字から分かるとおり、2年前の展示会に比べ、20%ほど参加者数も来場者数も増え、市場全体として盛り上がりつつある傾向がある。展示会主催者 Press Spokesman Mr.Gerd Fleischer 氏によると、「ここ数年で健康保険の個人負担が増え、医者に気軽にかかりにくくなりつつあるため、自分自身でサウナや食事で体を強くすることに人々の関心がより向くようになった。市場全体としても顧客の関心の高まりにより伸びている、とのこと。この点は日本も事情が似ていると思われまます。

特に最近の傾向として、富裕層に限っているが、個人購入希望者が増えてきており、例えばサウナやプールに行っていた人たちが「スパに住む」というコンセプトで、家とスパが融合した住宅を作るブームが起きている。(そのような顧客向け雑誌もあり) またホテルも競争激化のため、ウェルネスエリアを充実させることが必須となっており、より豪華で機能性に優れたものを取り入れるため、研究にきている来場者も増えている。

開催中に行われるテーマ別会議も業界の知識やノウハウを提供する重要な要素として重きを置いており、アクアサイクリングなど新しい流行コンテンツやプール産業における省エネルギーテクノロジー製品などが目についた。

サウナ分野で特徴的であったのが、やはり業界最大手の KLAFFS 社。非常に大きなブースを構え、新商品のサウナ2つに加え、10以上の人気のサウナやレストスペースの空間提案を展示。バーカウンターを備えた商談スペースは常にいっぱい埋まっている。洗練されたサウナの美しさやデザイン性は日本で普及しているサウナとは異なり、非常に刺激になることは間違いない。

他のサウナメーカーも多く出展しており、近年の特徴としては塩を用いたサウナが増えてきたことと、より付加価値を高め、競争力を強化するために、色や香り、デザイン性のレベルが向上している。また、近年「Mental Sauna (メンタルサウナ)」と呼ばれる、メデイテーション(瞑想)を目的としたサウナが人気になっている。単に汗をかいたみだけではなく、じっくり内面を見つめながら、ゆっくりと汗をかくことを目的としているとのこと。実際、展示場ではどれがそれに当たるのか分からなかったが、市内にあるサウナ施設に行くと、室内に仏像やキャンドルがあったり、非常に照明が暗く、音楽も低音で神秘的なアジアンテイストからヨーロッパテイストのサウナがあり、通常のサウナとは異なる雰囲気を感じ出していた。



と汗をかくことを目的としているとのこと。実際、展示場ではどれがそれに当たるのか分からなかったが、市内にあるサウナ施設に行くと、室内に仏像やキャンドルがあったり、非常に照明が暗く、音楽も低音で神秘的なアジアンテイストからヨーロッパテイストのサウナがあり、通常のサウナとは異なる雰囲気を感じ出していた。





もうひとつ展示会で人気を集めていたのが、カラー照明を用いたシャワーである。壁面やシャワーの噴出し口にLEDの演出を入れ、光に包まれながらシャワーを浴びることができる。日本ではシャワーを演出する施設はまだ見られないが、展示会では、様々な美しいシャワー演出提案がなされていた。



ドイツの展示会と日本の展示会の大きな違いは、参加者も見学者も商談を目的としている場合が多く、展示ブースでは、簡単な軽食やお茶が飲み、その場で挨拶ではなく、具体的な商談が行われる。日本の場合、何か新しいものがないか探しに来る目的の来場者が多く、出展社もこの展示会で「何件商談をまとめるか」まで真剣に捉えていない傾向があるため、展示会場全体にあふれる活気や出展企業の積極的なアプローチはとてども刺激となり、また単に見学に行くのではなく、ビジネスの種やアライアンスを求めていく価値も十分にあると思われる。

【開催概要】

21st international trade fair for swimming pools, pool and bath technology, sauna, physiotherapy and wellness.

- 日 時：2008年10月15日～18日
- 場 所：Messe Stuttgart 4ホール
- 展 示 社 数：453社(2006年は383社 約20%増)内70%の320社ドイツの会社、他30%が海外25カ国より出展。オーストリアとスイスが多い
- 出展分野内訳：プール56%(↓前年度61%)、スパ&ウェルネス23%(↑同22%)、サウナ11%(↓同13%)、ジャグジー8%(↑同4%)
- 来 場 者：約20,000人(2006年15,177人) 95%業界関係者、5%個人購入希望者
- 入 場 料：15ユーロ(1日チケット)、25ユーロ(2日チケット)

